



No.3446

第3764回例会
令和4年12月21日OBIHIRO ROTARY CLUB
DISTRICT 2500

方針「グレート・リセット 未来へ！」 会長 竹川 博之

2022-23年度国際ロータリーのテーマ イマジン ロータリー

■ゲスト紹介

(会長)
NPO法人スマイルリング 代表理事 堀田 豊稔 様

■会長報告

竹川 博之 会長
先週は年末家族会という事で80名近いメンバー、家族の方の参加を頂き、楽しんでいただけたかと感謝いたします。又、担当の梶野委員長、親睦活動委員会の皆様、有難うございました。

本日の例会をもって今年の最終となります。来年は、3週間後の1月11日の夜間例会が新年交礼会となっています。皆さんとはしばしのお別れとなりますが、今年の色々な出来事を来年への希望に変えて素晴らしい新年になることを期待します。

ところで一昨日の12月19日は、帯広RCが1950年(昭和25年)に戦後再開の総会を行った日であります。また、シカゴ本部からの再開の承認は12月28日付けとなっています。再開のメンバーは33名でのスタートでした。本年は、戦後再開71年目となります。年明けの新年交礼会で皆様と元気で再開出来る事、又飛躍の年となることを祈念して、会長報告とさせていただきます。

■退会のご挨拶 奥原 宏 会員

帯広ロータリーには、30年近く在席させて頂きましたが、以前より70歳を退会の時期と考えており、また、自分の体のこともあり、この度、12月末日を持ちまして退会させて頂くことを決心致しました。私にとって帯広ロータリークラブの活動は、非常に有難かった。色々な活動で多くを学ばせて頂きましたし、培った皆様との友情は、仕事をする上でも非常に励みになりました。これがロータリーの力なんだと改めて今日思っています。退会後も皆様との温かい友情は、持ち続けたいと思っております。町で見かけたら是非「よお」とお声掛けください。本当に長い事お世話になりました。

■公益財団法人ロータリー米山記念奨学会から米山功労者の表彰

対象者:竹川 博之 会長、村松 一樹 副会長

■プログラム「孤立しない社会を考える」(社会奉仕委員会)

NPO法人スマイルリング 代表理事 堀田 豊稔 様



NPO法人スマイルリングは、児童養護施設出身、そして少年院出院後の青年たちの自立サポート団体です。

児童養護施設とは昔でいう孤児院なんです。ただ、孤児は今、全国の児童養護施設で暮らす子どもたちの1割にも満たなく、虐待や育児放棄などを受けた子どもたちが半数以上を占めています。

みなさん、社会的養護って言葉聞いたことがあるでしょうか?児童養護施設で暮らす子どもたちや里親家庭で暮らす子どもたちのことを、『社会的養護のもとで暮らす子どもたち』と呼ぶんです。全国に約4万2000人います。

社会的養護の定義の中に「『子どもの最善の利益のために社会全体で子どもを育む』と書いてあるんです。施設に居る間は施設の先生たちが一生懸命に子供たちに関わって働いていると思いますが、出た後はどうでしょうか?社会全体で子どもたちを育てているのでしょうか?

僕がNPO法人を作ったのは、児童養護施設の先生から施設に居る間よりも施設を退園した後がホントあの子たち大変なんだよって聞いたんだとか、施設に居る子どもたちとの対話の中で、出た後の支援が絶対に必要だと強く感じたからなんです。

児童養護施設は原則18歳で退園しなければなりません。数年前から大学に進学した子は22歳まで入れるようになりましたが、大学へ進学する子は全体の約1割。ほとんどの子は高校を卒業後、施設を退園しなければなりません。

施設に入所した時から実は、『子ども手当』を施設では貯めていて、退園後に渡すのですが、それを知っている親御さんの中には一旦、中学生くらいになったら引き取りに行きます。親権の関係で、施設で貯めていた子ども手当も親御さんに渡さなければならないのですが、そのお金を使いきった頃、また施設に預けるケースもあるようです。そうすると手持ち金をほぼ持たないまま社会に放り出されるケースもあります。

逆に、幼い頃から18歳まで居た子なんかは、50万円以上のお金を持って退園することになるのですが、まあ、これにも問題があって、僕が知って

いるケースではほとんどの子が数ヶ月間で使い切ってしまう。施設にいた時は数千円のお小遣いをもらい、普段生活するのにほとんどお金がからず、生活していた為、彼らからしたら50万円以上のお金を持った時の感覚はいくら使ってもまだまだ減らないくらいある感覚なんだろう。お金を持っている余裕からなのか、仕事上手くいかなかったら、すぐに辞める、辞めてもお金があるので、すぐに就職に就かない、お金が無くなる、でも働きたくない。20代で生活保護をもらうや、女の子は風俗で働きはじめる子が僕が知っている子でもかなりいます。

普通の家庭の親があたり前に伝えたり、働いている背中を見せて育ててきた子どもたちに比べて、色んなことが抜け落ちてしまっている子が多いような気がします。僕が知っている青年も施設を出てすぐ、お湯を沸かしてくれと伝えたところ、ティファールをコンロに置いた子もいました。

コミュニケーション能力がとても低い子や、軽度の発達障害を持っている子も多いですから、やはり社会に出てもうまくみんなと馴染めなかったり、うまくいかない子も多いです。

スマイルリングは、行政でも、行政の委託事業でもないです。

給料は、僕も含めて一切もらっていないボランティア団体です。民間の助成金を申請しながら、寄付金をコツコツと集めて、なんとかやっているNPOです。

そんな僕たちのもとに!北海道だけではなく全国から青年たちが助けを求めてやってくるんです。令和のこの時代に10代 20代の青年たちがホームレスギリギリの状態所持金80円とかで紙袋1つの着替え、寒い時期にロンT1枚で来る青年も少なくありません。20代で希望を持ってない青年たち。どうせ俺なんて生まれた時から親に捨てられて人生詰んでるからどうでもいいやってそんな風に言ってる青年も多いです。

なぜ20代で希望を持ってないんでしょうか?それは“安心感”がないからなんじゃないかな?って思うんですよ。もし何かあっても、帰れる居場所や頼れる大人、親が居ないからなんです。安心感が無いと、夢を持って何かにチャレンジしたりとか、希望を持つだとか、なかなか出来ないんじゃないかと思います。

だから僕たちのもとに来た青年たちにまずは、安心して眠れる暖かい布団。そして温かい食事。相談出来る関係性を築いていって、自立のサポートをしています。

小さな時に親から心を傷つけられた子どもたちは、心を閉ざしてしまっている子たちも多いです。だから関わる大人の僕たちも根気が必要です。根気を持って関わって行くと、心を開き、安心して、今まで親から虐待に遭ってきただけ感情を表に出すことに臆病になっていた子も徐々に感情を出すようになって、今まで甘えて来れなかった子は甘えて来たり、わがままを、言うようになってたりしてきます。

これも成長の過程としてはとっても必要なことで、本当にこの人は信用してもいいのかどうか『試し行動』を繰り返して信用してくれた結果だと僕たちは思っています。

最近スマイルリングホームに来る青年の中には、◎以前関わった青年たちが周りにいる困っている子を僕たちに教えてくれて繋いでくれたり。◎少年院に僕が講話に行ったことがきっかけで、僕のもとに来る子や。◎少年院に入っている子の親から相談を受けて僕たちのもとにやってくる青年たちも増えてきました。

ただ、顔も知らない、どんな人なのか分からない人には多くの子は、なかなか困った時に連絡をしてくるのは困難だと僕は思っていて、だからこそ、在園中に子どもたちがまだ小さな時から、イベントなどを通して、『顔見知り』になる必要があると考えています。

まだ、コロナが流行する前には、元プロボクサーの坂本博之さんを招いてボクシングセッションというイベントや自活をはじめた時に自炊が出来るように食育イベントやクリスマス会に出席したり、学園祭にフワフワドームを持っていったり。

社会人講座と題して、卒園間近の子にお金の使い方やゴミの分別、まあ、先生たちも伝えてと思うんですけど、後は住民税や保険関係のことがわからず、滞納してしまう子が多いので、事前に教えることなどもしていました。

そして!皆さんと是非やりたいのが、職業体験会。色々な職業の体験を通して仕事に興味を持って欲しい。その体験の中で、この仕事楽しい!と思った仕事があったら職場見学に連れて行き、職場の雰囲気、そして、その子の背景も企業側にも知ってもらった上で就職まで、繋げたい!こうすることで、顔が見える就労のマッチングができると考えています。

ただ、最近はコロナの関係で僕たちも施設でのイベントや出入りも出来

ていないのが現状です。なので、コロナ禍でも、出来る方向を行政や施設側にも色々と提案しているところです。

物品の寄贈など施設側は、本当に助かる支援ではあると思いますが、直接子どもたちにその温かい想いが届いているか？という疑問です。

皆さんもそうだと思いますが、僕たちがしたいのは、学園で暮らす子どもたちへの直接支援ですね？施設、法人への支援ではなくて、そこで暮らす子どもたちの力になりたいと思っています。

社会的養護、社会全体で育んでいくには、退園後に何かあった時にどうやって連絡をしやすい関係性を作るか社会に受け皿を広げていくか？だと思ふです。

社会的養護や少年院出院後のサポートをしっかりやっているなど感じる地域は、僕たちのような社会活動団体と企業がガッチリと繋がり連携しているのが特徴です。だから皆様のような企業との繋がりは必須なんです。僕たちの活動に耳を傾けてくれる皆様のような温かい想いの企業の方が絶対に必要なんです。どうかお力をお貸ししていただけないでしょうか？

今月末には北大のシンポジウムに呼ばれているのですが、そのテーマがパーマネンシー補償について考えるなんです。

たとえば十勝の施設で育った子が、十勝を離れて東京に、就職する。だけど、色々あって、また地元の子に帰ってきたい！と思った時に、帰ってこれる受け皿がなく、地元の子が地元で根付くことが出来ないと、言う問題をみんなで考える、と言うテーマらしいのですが、僕がシンポジウムで提案したいのは、先程話した「職業体験会」通して企業の人たちに、児童養護施設で暮らす子どもたちを知ってもらうこと。

僕たちの行う座談会などに参加していただき、児童養護施設や少年院を出た青年たちのことをもっと知ってもらうこと。そのうえで、まずは十勝の企業で社会的養護のもとで暮らす子どもたちや少年院出院出院後の青年たちを受け入れ、雇用してもいいよ、と言う企業一覧の冊子を作りたいと考えています。施設にいる間に受け入れ企業一覧をわかりやすく子どもたちの目につくところに掲示しておいたり、施設を退園する時にはその冊子を渡す。

スマイルリングのホームページにも受け入れ企業一覧のページを貼るなど、子どもたちが、一度十勝を離れても戻ってくる時に、職場の選択肢をたくさん提案していきたいんです。

今まで、青年たちを受け入れ育てたい、と言ってくださった企業様もいましたが、残念ながら、青年が数回寝坊をしたとのことで『もうこの子はうちでは面倒見れない』と連絡が来たことがありました。

最近の若い者は、逃げる、ごまかす、諦める、どんな時代も大人が若い世代のことをこんなふうに出てきたと思うんですが、はたして若者だけでしょうか？大人も根気が必要です。

自己肯定感が低い青年たちにこれ以上自信を無くさせるのではなく、自信を持って欲しい。手に職をつけたらなんとかなるから！と言う思いで、昨年僕は、アスファルト舗装やカーポート、エクステリアなどを施工する会社、合同会社スマイルリングという会社を作りました。現在、従業員8名のうち6名は、少年院や児童養護施設出身の青年たちで構成されています。

『もうこの子は面倒見れない』と言われて、辞めてきた子も元気に今は寝坊もせずに頑張っています。青年たちの可能性を信じて、根気を持って関わっていける大人、企業を本当に探しています。

『頑張る人を応援する』というキャッチフレーズをよく目にしますが、『頑張れるように応援する』ことが大切なんです。

まずはこの僕が好きな土地、十勝全体でこの問題に取り組んで社会的養護や、少年院出身の青年たちを僕たちのような社会活動団体と企業が連携して、地域全体で子どもたちを育ていけるようなモデル都市に十勝をしたいと思っています！

家が見つかったり、経済的な問題が解決するだけで、他者との繋がりが無ければ、本当の『自立』では無く『孤立』になってしまう。私達スマイルリングの支援は『繋がり続ける』伴走型支援です。

活動を続けて行くには多くの皆様からのご協力が必要なんです。どうかみなさんご協力をよろしくお願いします。

最後に。1月21日 午前10時からNHK Dear にっぽんという30分番組でNPO法人スマイルリングのことが取り上げられますので、お時間がありましたら是非ご視聴をよろしくお願いします。



■会務報告

櫻井 博一 幹事

- ①帯広南RC、12月26日(月)の例会は、休会と致します。
帯広東RC、12月27日(火)の例会は、休会と致します。
帯広RC、12月28日(水)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、12月29日(木)の例会は、休会と致します。
帯広北RC、12月30日(金)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、令和5年1月2日(月)の例会は、振替休日のため休会と致します。
帯広東RC、令和5年1月3日(火)の例会は、休会と致します。
帯広RC、令和5年1月4日(水)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、令和5年1月5日(木)の例会は、休会と致します。
帯広北RC、令和5年1月6日(金)の例会は、休会と致します。
帯広南RC、令和5年1月9日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

- ②帯広RC、新年交礼会開催のご案内(夜間例会)
日 時 令和5年1月11日(水)
安全祈願:午後5時30分 例 会:午後6時
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
※尚、アルコールが出ますので、飲まれる方は運転をお控えください。

- ③各ロータリークラブ、新年交礼会開催のご案内

- ・帯広東ロータリークラブ
日 時 令和5年1月10日(火)午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ・帯広西ロータリークラブ
日 時 令和5年1月12日(木)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
- ・帯広北ロータリークラブ
日 時 令和5年1月13日(金)午後6時30分
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
- ・帯広南ロータリークラブ
日 時 令和5年1月13日(金)午後6時30分
場 所 北海道ホテル
※尚、1月16日(月)の繰上げ例会と致します。

- ④帯広RC、第5回クラブ協議会開催のご案内
日 時 令和5年1月18日(水)午後7時(18:30～食事は召し上がれます)
場 所 ホテル日航ノースランド帯広
出席義務者 理事・役員・委員長

【お知らせ】

- ・米山、ロータリー財団への寄付金等の年内の送金は、12/20で締め切らせて頂きましたので、ご了承ください。

■委員会報告

- ・ニコニコ献金 (親睦活動委員会)

<奥原 宏 会員>
12月末日にて退会させて頂きます。大変お世話になりました。
(退会のご挨拶で10万円頂いております)

<池田 健太 会員>
本日の例会を担当致します。よろしくお願い致します。
<梶野宗一郎 会員>

12月14日の年末家族会は、80名のメンバー、ご家族に参加を頂き盛大に行うことが出来ました。誠にありがとうございました。ゲーム大会・大抽選会とゆっくり食事を楽しましお時間が少なかったかも知れませんが、楽しんで頂けましたでしょうか。サックスの皆さんもアンコール嬉しかったと言っていました。本当にありがとうございました。

■出席報告

(出席委員会)

会員総数:91名(内 免除会員3名)
出席者数:53名(内 免除会員0名 内Zoom参加者4名)
本日の出席率:61.4%

■次週プログラム予定

令和4年12月28日(水)「休 会」
令和5年1月4日(水)「休 会」
令和5年1月11日(水)「安全祈願」17:30～
「新年交礼会」18:00～ (親睦活動委員会)



↑携帯サイトが
できました。
バーコードリー
ダーで読み込む
事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30

例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

●創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日

●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日

●事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 4F

TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033

●発行 / クラブ広報

●委員長 / 千葉 直樹・副委員長 / 五十嵐聖二・玉木 健

委 員 / 内木 敬典・荒井 純一・成田 浩之・金山 紀久

●ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>